

事業概要（事業費の内訳）

※この事業概要及び予算額は文化庁への補助金交付申請時のものであり、同庁のヒアリング等により変更になる可能性があります。

■人材育成事業

8,900 千円

- (1) 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業 300 千円

[概要]

既存ガイド団体等と連携しながら、活動者を館林市の魅力を発信し、市内観光を総合的にプロデュースする人材として育成する事業。まず令和元年度でガイド育成講座を実施した上で、令和2年度にランドナビゲーター育成講座、令和3年度にランドナビゲーター活動支援を行う。

- (2) 館林市「日本遺産」ブランド開発事業 2,900 千円

[概要]

民間活力やアイデアを取り入れながら、まち全体として市民の活躍の場を創出するための市民参加型提案事業を実施し、地域ビジネスの萌芽を育成する。市内各店舗で盛んな新商品開発の波に乗り、「里沼」の歴史文化を扱って館林市「日本遺産」を冠した商品・サービスを開発・提供する。事業者とクリエイターの協働を促進する事業。

- (3) 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業 3,200 千円

[概要]

館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援し、情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(沼辺)における全7分野の事業展開を促進する。各分野で年間2事業を企画・実施し、市民が気軽に「日本遺産」に参加できる環境を整える。

- (4) 官学連携「SATO-NUMA」事業 2,500 千円

[概要]

地元高校・短大、包括協定のある東洋大学、まちづくり・観光系学部がある大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させたARサービスを開発する。また、来訪者の「里沼」ストーリー理解を深めるための案内板デザイン案も作成しながら、次世代のまちづくりや観光を担う人材育成を図る。

■普及啓発事業

4,300 千円

- (1) 館林市「日本遺産」展示会開催事業 2,050 千円

[概要]

「城沼」では「つつじが岡ふれあいセンター」、「多々良沼」においては「野鳥観察棟」を、館林市「日本遺産」ガイダンスセンターとして位置づけ、「日本遺産」関連展示会を開催する。

- (2) 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業 2,250 千円

[概要]

近隣認定自治体やストーリーに関連のある自治体と連携して令和元・3年度に「日本遺産」シンポジウム、令和2年度に「沼辺サミット」を開催し、これまでに交流がなかった自治体との協働事業を実施する。

■調査研究事業

4,400 千円

- (1) 館林市「日本遺産」戦略的マーケティング調査事業 4,000 千円

[概要]

館林市を観光する来訪者ニーズや経年的な変動を確認するため、民間委託によりマーケティング調査を実施する。令和元年度＝基本調査、令和2年度＝フォローアップ調査を実施し、地域全体での「もてなしの心」強化、リピーター獲得に向けて適切なフィードバックを行う。

- (2) 田山花袋の「一日の行楽」ツアー再現事業 400 千円

[概要]

館林出身の明治時代の文豪田山花袋が「一日の行楽」で書いた、館林駅からつつじが岡公園に至るルートを「花袋の『一日の行楽』ツアー」と名付け、定期的に再現ツアーを、首都圏旅客業者を対象としたニーズ調査目的のモニターツアーとして実施する事業。解説案内だけでなく、渡し舟乗船や特製行楽弁当なども味わい、往時の雰囲気を楽しむツアーの商品化につなげる。

■情報発信事業

22,400 千円

- (1) 「文化財ルネッサンス」民間促進のためのPR支援事業 700 千円

[概要]

活用者とイベント参加者が文化財の魅力を体感できる事業として平成18年度に市有文化財(歴史的建造物)活用事業「文化財ルネッサンス」を開始した。「日本遺産」認定後、当該事業を民間所有物件にまで拡大させるため、活用団体等に対するPR活動(チラシ等印刷)を支援する事業。

- (2) 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業 3,000 千円
[概要]
「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」と称し、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等への幟・暖簾・ステッカーを設置し「日本遺産」をPRするとともに、地域の一体感を醸成する事業。各媒体にQRコードを貼付し、来訪者の「いいね」や感想等による口コミ効果も狙う。対外向けにはラッピング観光バスを設け、市外へのPR活動に使用する。
- (3) 麦食・川魚食文化PR事業 1,500 千円
[概要]
「里沼」の実りを象徴する麦関連食品(うどん・ラーメン・菓子)や川魚食品(鯰・鯉・鮒)のPRを行う(広報宣伝・イベント実施)事業。味をPRするだけでなく、平成23年度から開催している「麺-1グランプリ」や「うどん打ち体験」等のイベントも継続実施、独自食文化PRを図る。
- (4) 「日本遺産」ガイダンスセンター映像制作事業 13,200 千円
[概要]
「城沼」の畔にある「つつじが岡ふれあいセンター」を、館林市「日本遺産」ガイダンスセンターとして位置づけ、既存4Dシアターにおける「里沼」映像コンテンツを製作する。
- (5) 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業 1,000 千円
[概要]
館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を公開し、国内外に向けての積極的なPRを行う事業。単なる開設に留まらず、動画配信や多言語対応化に重点を置くもの。
- (6) 館林市「日本遺産」パンフレット作成・多言語化事業 3,000 千円
[概要]
平成30年度に市民団体「館林つつじサポーターズ倶楽部」が発行した市内文化財や沼辺マップを総合的に網羅したガイドブックをベースに、館林市「日本遺産」パンフレット発行と多言語化(英語・繁体字)に取り組む。

■活用整備事業

4,560 千円

- (1) 案内板・サイン整備改修事業 3,560 千円

[概要]

日本遺産ストーリーで位置づけた3つの沼(茂林寺沼・多々良沼・城沼)と構成文化財の案内板・サインの設置を行い、来訪者の満足度向上・回遊性向上をはかる。案内板デザインは大学等と連携し進める。

- (2) AR利用促進Wifi環境整備事業 1,000 千円

[概要]

資料館施設や主要な構成文化財(建造物)にwifi環境を整備し、ARコンテンツの利用や「里沼」ストーリーの理解促進を図る。